

三国地区と金沢地区で沖底船組合員大会を開催
4 月に要求をとりまとめ 7 月末に要求提出

2 月 1 日、三国町商工会館において「第 35 回三国地区沖底船組合員大会・三国船員会総会」を開催し、現場組合員 23 人が出席した。また、2 月 10 日に山代温泉「ホテルききょう」において「第 35 回金沢地区沖底船組合員大会・金沢船員会総会」を開催し、金沢地区沖底船の組合員 19 人が参加した。

金沢地区の大会では、物故船員および能登半島地震で犠牲となった方々へ黙とうを捧げた後、熊谷勝明北陸支部長から開会あいさつを行い、議長に浅川健司金沢船員会会長（第 55 住吉丸）を選出し、続いて浦隆幸関西地方支部長からあいさつが述べられ、議事に入った。

はじめの報告事項では、組合から、令和 6 年度の組合本・支部活動報告を行い、続いて金沢船員会から船員会の活動報告を行い、質疑応答で理解を深めた。

審議事項では、組合から、令和 7 年度労働協約改定要求について、本組合の地区漁船の統一要求内容を基本とし、4 月に開催する北陸 3 地区（金沢・加賀・三国）の合同役員会で要求内容を取りまとめ 7 月末に金沢支所漁業実行組合と金沢港支所船主相互会の船主団体へ要求書を提出し、今次労働協約改定交渉に臨むことを提案した。

また船員会からは、令和 7 年度活動方針について、安全操業ならびに管理型漁業の促進を図り生産性の付加価値向上を目指すとともに、後継者の確保・育成に労使協力して取り組むことや若者が定着する魅力ある職場造りの構築、沖泊り・折り返し、夜曳操業など連続操業における過重労働の防止に労使一体となって取り組むことなどが提案され、それぞれ満場一致により採択された。

最後に浅川会長の「ケガ・事故のないように各船協力し、頑張ろう」のガンバロー三唱で閉会した。

「海員だより」